

校内研究だより

NO. 7

川崎市立上丸子小学校校内研究ワーキング 令和2年 2月17日

第7回校内授業研究（算数）の様子についてお知らせいたします。

4年生「小数と整数のかけ算わり算」

3組「2倍と3倍の間の倍は何倍と表せばよいのだろう」

ちょうど「いくつ分」と言えないね。

2倍と3倍の間になるから・・・

テープ図をもとに倍の表し方を考えました。「もとにする数の半分は・・・」「2つ分は・・・」など、話し合いを通して自分の考えを友達の考えとつなぐことでクラスみんなで、問題解決に向かっていきました。

2組「どちらのテープがもとにする1とみるのだろうか」

もとにする数は前の授業から考えると

1より小さい数が倍になってしまうよ。

2組「倍を1より小さい数で表してよいのだろうか」

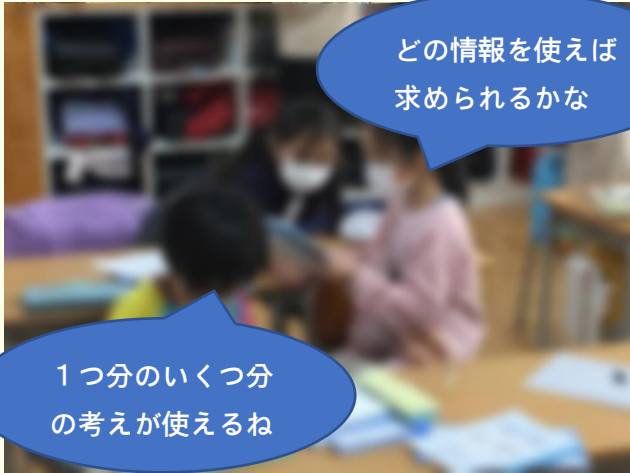
倍の表し方について自分の考えをもち、式を立て、話し合いました。「もとにする数をどれにするかで式が変わる」「小数で倍を表すこともある」など活発に意見を出し合って学習しました。

図を活用し、根拠を明確にしながら考えたり表現したりする力をつけてきました。

1時間ごとに学んだことを確実に積み上げながら、単元を通して納得をつかみとる学習になりました。

3年生「かけ算の筆算（2）」

1組「校舎の高さを求めよう」



かけ算を使って、建物の高さを求める学習を行いました。「1つ分のいくつ分」という考え方を常に意識しながら、建物の高さを求めるために必要な情報をいくつかの選択肢から選び取り、自分の考えをもって話し合っていました。

4組「一の位が0じゃないときの2けた×2けたのかけ算は、どうやって答えを求めたらよいのだろうか」



前時の学習と比較をしながら、かけ算の計算の仕方を考えました。子どもたちが「前に習ったことを使ったらできそうだ」と解決に見通しをもち、考えを共有しながら、クラス全体で問題解決へと向かっていく様子が見られました。

前時までに習ったことを意識しながら、意欲をもって学習に取り組んでいました。

今後も習ったことをもとにしながら納得をつかみ取り、学習したことが生かされることを実感できるようにしていきます。

今年度は全7回の校内授業研究を行いました。「つなぐ」をキーワードに学びの良さを実感できる子の育成を目指してきました。めあてや見通しをもつ・既習を使って自分で考える・図に表して説明する・話し合っって考えを再構成するなど、子どもたちが生き生きと、主体的に学習に取り組む姿が見られるようになりました。